



# 島五小だより ふるさと安中大好き！

～すなおさいっぱい かしこさいっぱい たくましさいっぱい～

## ○ 1学期まとめの7月

梅雨明け宣言が待ち遠しい今日この頃ですが、地域の皆様・保護者の皆様いかがお過ごしでしょうか。今年の梅雨は何とも雨の少ない梅雨だったのですが、昨日は大雨となりました。雨の中も何のその、多くの安中っ子は毎日元気に歩いて登校しています。交通安全を含め、荒天による登下校の安全指導を徹底しながら、1学期最後までがんばって登校して欲しいと思います。

さて、7月に入り、学校では1学期の終盤に入りました。学習においては、これまでの学習の復習をしながら、1学期のまとめを行ってまいります。各学年の水泳指導も順調に進んでいます。この4月に入学した1年生や1学年ずつ進級した2～6年生の児童一人一人が、これまでにそれぞれが成長した部分があり、また、ステップアップのための課題も見えてきます。最近のお子様の様子をご覧になり、まずは、「我が子の成長」をしっかり認め、たくさん褒めてあげてください。新型コロナウイルス感染症予防対策にも引き続き決して気を緩めることなく、熱中症対策にも細心の注意を払いながら、安全に楽しい夏休みから2学期へと備えていきます。夏休みも含め、今後とも、家庭・地域でのさらなる見守りや励ましの声かけ等をよろしくお願いいたします。



## ○第1回学校運営協議会の開催

7月4日(火)、今年度、第1回目の本校学校運営協議会を開催いたします。学校運営協議会は、いわゆるコミュニティ・スクールの中核をなす会であり、島原市教育委員会の指定を受け、3年目となります。

本協議会の目的は、(コミュニティ・スクールとは?)



- 1 学校と家庭・地域住民の連携・協働を進めて信頼関係を深め、地域に開かれた学校の実現に寄与するとともに、生きる力をもって社会に貢献できる児童の育成を目的とする。
- 2 学校運営を支援するための中核になる組織として位置づけ、学校運営に関する方針や情報、課題を共有し、目標達成や課題解決に向けて協働する。
- 3 学力向上や生徒指導・生活指導、安全・安心に関する課題等の解決のために、地域の教育力を活用した連携・協働活動を行うボランティア(学校応援団)を募集する。
- 4 学校の方針、運営、評価、改善についても協議して、円滑な連携・協働活動に努めるものとする。

また、所掌事項として校長は学校の基本方針を示し、承認を得るものとする。

- (1) 教育目標及び学校経営方針に関すること
- (2) 教育課程及び組織の編成に関すること
- (3) その他、校長が必要と認める事項に関すること

上記事項等について、承認をしていただきます。

「地域の子どもは地域で守り育てる」という風土の醸成を培うべく、安中っ子の子育ての圧倒的当事者としての責任と自覚・意識の高揚を図ってまいります。学校と家庭・地域が、予測困難な将来社会をたくましく生き抜く力を兼ね備え、社会の形成者としての安中っ子を地域総がかりで育ててまいりましょう。地域に開かれた学校の実現を目指してまいります。学校・家庭・地域が手を取り合い、知恵を出し合いながら、子どもを中心に据え、「できる人ができることを」のスタイルで取り組んでまいりましょう。今後とも、皆様方のご理解・ご協力、ご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

## ○七夕伝説

～かなり生々しく、人間くさい物語～

### 【七月七日一夜だけの恋のロマンスイン天の川】

織姫と彦星の恋の物語は、古代中国が発祥とされる。天の川の西岸に住んでいたのは、織姫という美しい姫。見事な布を織り上げる腕前の持ち主。織姫は毎日毎日布を織り続け、若い身であるのに外見に気を遣うこともしない。これを不憫に思った天帝は、織姫の結婚相手を探し始めた。見つけたのは天の川の東岸に住む牛使いの彦星。彼もやはり勤勉な青年だった。二人は結婚したが、かつての真面目さはどこへやら、互いに甘い結婚生活に夢中になるあまり、仕事を放棄してしまう。天帝の忠告にも耳を貸さずに甘い生活に溺れた。怒った天帝は、二人を引き離し、天の川を渡れないように、会えないようにした。嘆き悲しむ二人に天帝は言う。「もとのようにしっかり働くなら、年に一度だけ会わせてやってもよいぞ・・・」恋愛にのめり込んで周囲が見えなくなり、社会性を失った男女が、そもそもの問題なのである。悲恋でも何でもなく、自業自得の物語なのだ。七夕とはきわめて生々しい、人間くさいエピソードなのである。

### 【参考文献】

『本当は怖い日本のしきたり』

著者 火田 博文

発行所 株式会社彩図社



七夕といえば、短冊に願い事を書いて笹にくくりつけますが、なぜこのようになったのか調べてみるのもおもしろいかもしれませんね。さて、子どもたちは短冊に何を願っているのでしょうか。みんなの願い事が叶いますように・・・。

## ○長崎っ子の心を見つめる教育週間

7月3日(月)～7日(金)まで本校の「長崎っ子の心を見つめる教育週間」です。期間中、学校を開放いたします。4日(火)の授業参観も実施いたしますが、時間があられましたら、学校へ足をお運びください。子どもたちの学習の様子等をご覧になられてください。



## ○7月は、『ココロねっこ運動』強調月間

子どもは、まわりの大人や育つ環境に大きな影響を受けて成長します。子どもが心豊かに成長するためには、多くの大人の関わりが必要です。そのために、家庭や地域などの生活の中で、実践できる取り組み「ココロねっこ<sup>テン</sup>10」として、示されています。

### 【家庭では】

- ① 「早寝・早起き・朝ご飯」の生活のリズムを確立させましょう。
- ② 毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族の絆を深めましょう。
- ③ 学校・PTA行事や地域行事に、すすんで参加しましょう。
- ④ 親の責任で携帯電話を持たせるときは、子どもたちを守るためにフィルタリングを必ずしましょう。

### 【保育所・幼稚園・学校では】

- ⑤ 楽しい遊びや学び、わかる授業を展開し、たくましく生きる力を育みましょう。
- ⑥ いじめや仲間外しがなく、安心して園・学校生活を送れるようにしましょう。

### 【地域では】

- ⑦ あいさつ・声かけ運動を推進し、子どもも大人も顔見知りになりましょう。
- ⑧ 子どもや子育て家庭を温かく見守り、相談にのりましょう。

### 【企業では】

- ⑨ 「ノー残業デー」を設定し、家族だんらんを応援しましょう。
- ⑩ 学校・PTA行事や地域行事に参加しやすい雰囲気や体制を整えましょう。

子どもたちのよりよい環境をつくるためにも、できることをコツコツと続けることが大切です。学校・家庭・地域の宝である「地域の子どもは、地域で守り育てる」という風土の醸成を今後ともつくっていききたいものです。また、子どもたちはいつでも、私たち大人のすることをよく見ています。

